

ここが聞きたい

Q & A

黒潮町立漁村センター及びホエールウォッチングセンターに係る指定管理者の指定

Q 指定管理者は県漁連ではなく地元にはどうか。

A 申請者が県漁連で出ている。

平成22年度一般会計決算の認定

公営住宅の滞納繰越分

Q 2400万円余りの収入未済額は固定化しているのか。

決算時点での滞納者は何人か。また金額が最も多い人は何力月の滞納があるか。

A 全然回収不能ということではなく昨年よりも数字は減っている、鋭意回収に努めている。40万円以上の人が、現在18人。

黒潮ブランド化専門家委託料

Q 210万円ほどのような専門家に何を委託したのか。

A 総合振興計画のプロジェクト

トの中にある「さしすせそ」計画を、梅原デザイン事務所に委託した。

不用額

Q 執行部は不用額の割合をどの程度が適正と思っているか。

A 例年、約5%以内を目指しており、監査委員から妥当であるという報告を受けている。ある一定の不用額はやむを得ない。



植田副町長

平成22年度黒潮町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算

Q 国民健康保険の収入未済額が6400万円ある。全体的には下がっているが、佐賀地区と大方地区の割合はどうな

っているか。地域活性化交付金の制度が変わったので、佐賀の未収金が増えているのではないか。

A 佐賀と大方との区分けを現在にはしていない。活性化交付金は振替口座件数によって補助金を出しているのですが、支障はないと考えている。



矢野健康福祉課長

一般会計補正予算

庁舎用地測量、造成設計委託

Q 新庁舎位置の変更先スケンの用地測量、造成設計委託料2500万円が提案されたが、庁舎の位置を決める条例をなぜ出さなかったのか。

A 買収する5万㎡の地権者に了解はいただいているものの、

代表地番までは、協議が深まっていない。用地測量をして、どのような造成設計をするのか資料がある。大量の残土が生じれば、庁舎の用地以外にも残土処理場を用意しなければならぬなど複合的な要素があるので測量設計を委託する議決を求めた。

合併特例債の期限が迫っており少し拙速かもしれないが、議会へ再度確認のため提案した。

Q 佐賀地域集落整備事業の補助金どこへどう使うふうにするのか。

A 7月の台風6号で傷ついたマイク放送設備と電線を修理をする。佐賀地域分が30万円、大方地区は工事請負費として90万円となっている。



大塚地域住民課長